

〈令和5年度〉ミライカナエル活動サポート事業 スタート支援コース

団体名	江の島ティラノサウルスレース実行委員会
事業名	ティラノサウルスレースの企画・運営
補助金額	200,000円
事業の目的	
ティラノサウルスレースを通して体を動かす機会を創出して、老若男女の交流を図る。また、鵜沼海岸でイベントを実施することで、藤沢市民以外の参加者に鵜沼海岸の良さを感じて頂き、継続した来訪者誘致に繋げる。	
事業の内容と成果	
＜事業の内容＞ ●第4回江の島ティラノサウルスレース開催 9月：レース開催の企画・概要作成。 10月：備品等の準備物の手配を始める。 レースについてSNS（X、Instagram、ホームページ）で告知。 エントリー開始、1日で定員の300名の応募があり受付終了。 11月：大会を盛り上げる特別ゲストとして、トランパッター・盆女・華道家に出演交渉→快諾。 Locomo 湘南さんと近隣店舗でのクーポン・特典の依頼。 12月：ボランティアの交通費を払う代わりに、ボランティアスタッフTシャツ配付に変更した。 コロナ・インフルエンザの影響で多数のキャンセルもあり、最終的には260名の参加者で大会実施。 ●「江の島ティラノサウルスレース交流会（水の陣）in えのすい」 （閉館後の新江ノ島水族館を貸し切り、オフ会実施） 8月：えのすいさんと打合せするが、コスト的に折り合いつかず。 10月：コスト低減の為えのすいさんと再交渉の末、シーズンオフの平日に開催することに決定。 オフ会開催の企画・概要作成。 11月：SNS（X、Instagram、ホームページ）で告知。エントリーを開始。 12月：集客に苦戦し、最終的には12名の参加者でオフ会開催。 モノマネのできるMCにてオフ会を盛り上げてもらう。	
	
	
＜成果＞ 大会にて砂浜ランの効果を説明し、砂浜ラン会への勧誘を行った。3年前は数名でやっていたが、現在ではレース参加者がそのまま砂浜ランに来るようになったわけではないが、口コミで広がり常時20～30名の参加者で実施している。 大会開催週には、Locomo 湘南さんに協力を得て、30店舗以上に協力依頼はしたが、最終的には8店舗の鵜沼海岸商店街の飲食店のご厚意でクーポンや特典をご協力いただき、参加者にも利用いただくことに成功した。	
事業を実施しての課題	
- 自前の道具や設備を持ち合わせていないため、そのレンタル料や、謝礼に費用がかさんでしまう。 - また、安全確保のために、スタッフを厚く配備する必要もあり、その謝礼も費用がかさんでしまう。 - 大規模になればなるほど、受付に時間がかかってしまうため、受付の効率化が必要。 - ブームが過ぎ去った後の活動を模索中。	